

「伊都国から倭人伝の国々を探る」シリーズ第3弾!!

濱山海居 末盧国

四千余戸あり、山海に沿うて居す 玄界灘に生きた海人たちの足跡



末盧国王の鏡
桜馬場遺跡出土流雲文縁方格規矩四神鏡
(唐津市 / 重要文化財)



玄界灘の海人たちの墓
大友遺跡出土イモガイ製貝輪
(唐津市)



末盧国の象徴 ヒスイの玉の数々
中原遺跡出土品
(唐津市)



日本最古の稲作遺跡
菜畑遺跡出土品
(唐津市 / 唐津市指定文化財)



弥生人の精巧な木製剣装具
里田原遺跡出土品
(平戸市 / 長崎県指定文化財)

『魏志倭人伝』に記された倭の国々。朝鮮半島から海を越え對馬国、一支国を経て次に至るのが、現在の唐津・松浦地域にあったと考えられる「末盧国」です。

倭人伝によると、末盧国は「四千余戸有り、山海に浜(そ)うて居り」と記されており、玄界灘沿岸に面した海辺や山裾に沿って集落を営んでいた人々の様子が思い浮かびます。

「末盧国」の領域には、菜畑遺跡・宇木汲田遺跡・桜馬場遺跡(いずれも唐津市)など、弥生時代の重要遺跡がひしめいています。また、旧松浦郡域(伊万里市・松浦市・平戸市・佐世保市の一部)の海浜部にも拠点的な遺跡が点在し、まさに「濱山海居」と記された「末盧国」の情景をはうふつとさせます。

本展は、唐津・松浦地域の弥生・古墳時代の重要遺跡の出土品などから「末盧国」の地域的特色を探る展示会です。これまで本シリーズでみてきた對馬国・一支国とまた違った特色をもつ「末盧国」の出土品の数々をぜひご覧ください。

【関連イベント】会場／糸島市立伊都国歴史博物館 定員／50名(要事前申込・先着順) 料金／各回400円(観覧料含む) 申し込み方法／9月15日(火)より電話による申込み開始

11月1日(日)14:00～

特別講演会①
「末盧国人のこだわり
—装身具と鉄—」

講師:美浦雄二氏
(唐津市教育委員会)



11月8日(日)14:00～

特別講演会②
「末盧国研究の
成果と課題」

講師:小田富士雄氏
(福岡大学名誉教授)



11月23日(月・祝)14:00～

特別講演会③
「末盧国の時代
—桜馬場遺跡から
久里双水古墳まで—」

講師:田島龍太氏
(末盧館前館長)



令和2年 10.3(土)▶11.23(月・祝) 開館時間／午前9時～午後5時
月曜休館 ただし11月23日(月・祝)は開館

【会場】伊都国歴史博物館 1階企画展示室他

【観覧料】大人400円(300円) / 小中高生200円(150円) ()は20名以上の団体料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳(以上の手帳を提示した人の介護者1人を含む)を提示の場合は無料。

糸島市立 伊都国歴史博物館

〒819-1582 福岡県糸島市井原916番地
TEL:092-322-7083 FAX:092-321-9155

■バス

JR筑肥線波多江駅からミニバス井原山線井原山行き、伊都国歴史博物館前下車。
または、JR筑肥線周船寺駅からミニバス川原線川原行き、高祖バス停下車徒歩10分。

■車

【福岡市方面から】

九州自動車道福岡インターまたは太宰府インターから福岡都市高速道路經由西九州自動車道今宿インターを降り、国道202号飯氏交差点を左折、約8分。

【唐津方面から】

国道202号波多江交差点を右折、約8分。